

「令和2年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 3 年 4 月 15 日

事業名称		保健事業費 [昭和病院企業団事務]									
予算科目	款 4	衛生費	項 1	保健衛生費	目 1	保健衛生総務費	事業番号	2			
事業の種別	<input type="checkbox"/> 市単独 <input checked="" type="checkbox"/> 補助対象 <input type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)										
担当部署・課長名	健康		課		庶務		係	課長名	志村 明子		
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。							施策番号	2 - 1			
【施策名】 保健・医療の充実							総合計画書 (ページ)	47			
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。				① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)						
	市民(構成市市民)				組織市数: 7市(小金井、小平、東村山、東久留米、清瀬、東大和、西東京)利用者数 →						
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]				② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)						
	多くの市民が必要な高度専門医療を受け、健康を回復する。				東大和市民利用者数/利用者総数 →						
2 指標の推移	③ そのために何をしましたか。				③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)						
	分賦金の支払、広報掲載、実績確認等				年度ごとの利用者実績数の推移の把握 →						
3 経費			単位	過去2年間の実績		当該年度		成果目標			
				平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標			
	対象指標	①の数値	人	250,393	248,550	22,740					
	成果指標	②の数値	%	4.0	4.0	4.1					
	目 標	②の目標値	%	5.0	4.0	4.0					
		目標値設定の考え方 市民の利用割合の維持									
3 経費	事業費(実績)		円	88,768,000	88,328,000	84,697,000	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、 8,380,000円 時間単価は、 4,300円 で計算してください。 【算出根拠】平成31年度決算数値。 (退職手当組合負担金、共済費も含む。)				
	財源	一般財源	円	88,768,000	11,822,000	2,124,000					
		特定財源(国・都・他)	円		76,506,000	82,573,000					
		(うち受益者負担)	円								
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.2	0.2	0.2					
		所要人数(再任用)	人								
		職員人件費(再任用以外)	円	1,648,800	1,662,000	1,676,000					
職員人件費(再任用)		円									
事業費+人件費		円	90,416,800	89,990,000	86,373,000						
4 環境変化等	(1) 開始年度		3 年度								
	(2) 環境の変化										
平成28年度末に武蔵村山市が構成市から脱退 令和2年度に新型コロナウイルス感染症患者の影響による病院事業への財政支援をした。											

事業名称	保健事業費 [昭和病院企業団事務]			
担当部署・課長名	健康	課	庶務	係 課長名 志村 明子

5 市民等の意見	この仕事に関して、令和2年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について 特になし			
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）			
	<input type="checkbox"/> 取り組んだ	取組手法：		
	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組まない	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）		
	(2)令和3年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点			
7 課題	(1)令和2年度に課題とした内容（「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート 7課題（3）を転記） 東大和市民の利用が減少している。			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、令和2年度に実施したこと。 構成市民優遇制度の情報の発信。HP、市報への関連記事の掲載。定例会議録の閲覧。			
	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案） 東大和市民の利用が減少している。			
8	施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。） 施策名： 保健・医療の充実 <input checked="" type="checkbox"/> なっている <input type="checkbox"/> 環境の変化等により成果が減少している <input type="checkbox"/> 類似の事業が他にあり改善の余地がある 事業名（ ）			
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など） <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 【取組内容】 利用者増に向けて、引き続き昭和病院の事業や構成市民優遇制度の情報を発信する。			
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等			
	市報、HP等を活用する。その他の情報提供の方法等について検討する。			